

もっと知りたい!

第42号

つくば市 ばん かわら版



つくば市イメージキャラクター
フックン船長



つくば市長 五十嵐立青

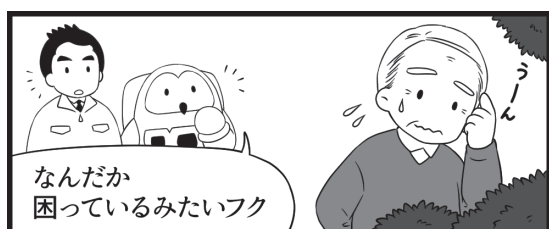
2025年2月17日

皆さんのギモンに市長が答えます

今回のテーマ

身近にあるつくばの森林について 考えてみよう

問 ▷鳥獣対策・森林保全室▷環境保全課



ギモン

01

市内の森林の 現状と課題を教えて!



つくば市にはどんな森林があるの?



つくば市の森林は、山間部だけでなく民家や道路、畑の隣などさまざまな場所にあるのが特徴です。そのため、維持管理ができていない森林の枝や雑草が隣地から民家などに侵入してきてしまうという困り事があります。また、森林の所有者にとっても、高齢化や費用の面で維持管理が難しいといった困り事があります。

これまで市は、荒れた森林の対応として「^{さとやまりん}里山林整備推進事業」を実施してきました。この事業は、森林の機能を維持することを目的として、所有者が適正な管理を実施する内容の協定を市と所有者が締結し、はじめに市が整備を行い、その後は所有者が維持管理を行うものです。しかしながら、高齢化などの理由で所有者による維持管理は難しくなっています。

そこで新たに「森林バンク制度」を創設することになったんです。

森林の代表的な機能



つくば市



裏面では、「森林バンク制度」など市の取り組みを詳しく紹介するよ!

ギモン

02 市の森林に関する取り組みについて教えて!



森林バンク制度って何?



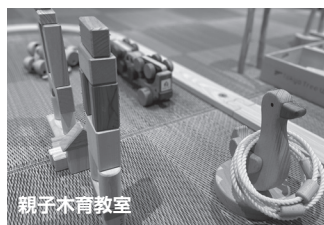
市が2025年4月から運用を開始するもので、森林の所有者と利用者を市が仲介して、森林を活用する制度です。この制度は、所有者から登録の要望があった森林をホームページ上に公開し、利用者がそれらの森林を交流や活動する場として借りることで、利用者による持続可能な森林の維持管理を促すことを目指しています。市町村としては全国初の取り組みで「森林環境譲与税(右側参照)」を利用して運用されます。



他にはどんな取り組みがあるの?



将来世代への木材を大切に
する意識の醸成を目的に、木のおもちゃで遊び、木に親し
みをもってもらうイ
ベント「親子木育教室」
を開催しています。他にも森林保護のために、虫
の被害を受けて枯れている樹木を適切に処理し、
被害拡大を防止する取り組みを行っています。



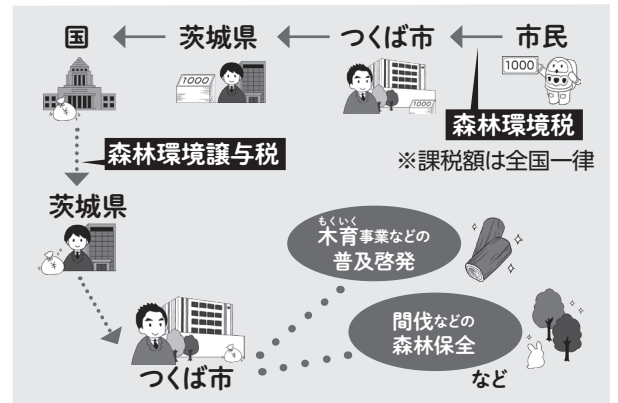
つくば市の森林の将来

市は、森林バンク制度などで森林を活用し持続的な維持管理をしてもらうことや、森林資源の活用や整備方法などを学ぶ機会を提供することで、森林が身近で多目的に利用できる場所、そして地域の皆さんの「たまり場」「居場所」として再認識されることを目指します。将来的には、全世代の方にとって森林が親しめるものとなるように取り組みを進めていきます。



森林環境税と森林環境譲与税

「森林環境税」は、2024年度から国税として納税義務者一人年額1,000円の徴収が始まったものです。集まったお金は国を通して「森林環境譲与税」として市に配分され、森林の機能を発揮させる取り組みに活用されています。



森林管理からつながる生物多様性

問 環境保全課

つくば市での「自然共生サイト(民間の取り組みなどによって生物多様性の保全が図られている区域)」の認定数は5カ所と全国でトップクラスです。今後も認定数を増やし、豊かな自然環境と生物多様性を未来につなげていくためのサポートをしていきます。



アンケートへのご協力をお願いします。

今後の発行の参考とさせていただきますので、『もっと知りたい!つくば市かわら版 第42号』をお読みになった感想などをお寄せください(各号ごとのアンケートとなります)。



▶ <https://r.qrqrq.com/LA2ORYp0>

※個別の質問にお答えすることはできません。

パソコン スマホ



でつくば市かわら版をいつでもどこでも!



市ホームページ



マチイロ

市公式YouTube

